

岐阜県立可児工業高等学校

学 校 長 片岡 基靖

学校住所 可児市中恵土 2358-1 電話 0574-62-1185

- 1 会議名 岐阜県立可児工業高等学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和3年2月12日(金) (意見の最終回答日2月16日(火))
- 3 開催場所 書面開催

4 参加者

委 員	会 長	大杉 守平	可児市中恵土自治連合会長
	副会長	續木 保証	可児市下恵土自治連合会長
		問屋 裕子	P T A役員
		花村 誠司	可児市立図書館長
		渡辺 恒代	元P T A役員
		今井 真実	元P T A役員
		各務 眞弓	可児市多文化共生センター事務局長

学 校 側	片岡 基靖	校長
	加藤 信男	教頭
	安藤 達矢	工業教育部長

5 会議の概要(協議事項)

送付資料等

- ① 学習指導について(教務部)
- ② 生徒支援について(生徒指導部)
添付資料:意識して自分を伸ばそう(生徒指導部)
添付資料:生徒心得(生徒指導部)
- ③ 進路指導について(進路指導部)
- ④ 地域産業の担い手育成総合戦略事業報告
- ⑤ 工業教育部の取り組みについて(工業部)
- ⑥ 令和2年度(2020年度)可児工業高校 新聞記事一覧について
- ⑦ 令和2年度 自己評価報告書について
- ⑧ 委員様の御意見について

<委員からいただいた御意見>

意見1: コロナ禍という経験したことのない苦しい状況下においても、工業高校としての役割を果たし、特色ある活動を実践されている。

意見2: 高校生は、反抗期の年代でもあると思うが、保護者や地域とともに粘り強い指導を継続してほしい。

意見3: 専門性の高い指導で多くの企業からの求人があり、工業高校としての責務を果たしている。地域や企業との連携も効果があったと思う。

- 意見4：本校の取組は、全体的に活発であると思う。今後も担い手育成に努めてほしい。
- 意見5：可児市の主要産業は製造業であり、本校への期待が大きい。期待に応えられるよう頑張っ
てほしい。
- 意見6：若者が定着する地域づくりのためには、今後も本校の協力が必要である。
- 意見7：就職に強い学校として、地域人材育成のために貢献を続けてほしい。
- 意見8：多文化共生は今後の日本社会や経済活動において必要な視点であり、本校においても継続
した取組をお願いしたい。
- 意見9：コロナ禍で公私ともに大変な状況下であるにもかかわらず、生徒のために尽力される教職
員に心から敬意を表したい。今後もオンライン等を活用して生徒一人ひとりに寄り添った
指導をお願いしたい。
- 意見10：可児市内にある岐阜医療科学大学と化学分野での交流等を行い、より高度な学習や研究に
触れる機会を設けてはどうか。
- 意見11：校則が見直される中で社会人として通用する人材を育成するためには、「社会人学習」の
ような場がより求められるのではないかと思う。

6 会議のまとめ

今回も第1回と同様に学校運営協議会は書面での開催となったが、委員の皆様からは貴重な御意見だけでなく、多くの激励や応援のお言葉をいただいた。委員の皆様をはじめ地域の方々からいただいた本校教職員に対する応援は、教職員のやる気に繋がり、厳しい御意見に対しても真摯に向き合える勇気を与えていただけに十分なものであった。

本校としては、委員の御意見やお言葉に感謝するとともに襟を正し、コロナ禍の中でも、生徒や地域社会のために一層の努力を惜しまない強い気持ちで、教育活動に邁進する決意をもった。また、コロナ禍に起因して業務負担が増える中、疲弊している教職員には何よりの勇気づけとなった。委員の皆様をはじめ、応援いただける多くの方々の気持ちに応えるためにも、さらなる研鑽を積むとともに、地域産業の担い手育成に全力で取り組んでいくことを職員一同で確認した。